



タウンプラザかねひで 美里市場店 店長
工藤 賢吾さん

仲間からのMessage

店舗でともに働く
4名は大切な仲間です

日頃からコミュニケーションを密にとるよう心がけています。専門性を求める方や幅広いスキルを身に付ける方、人によって働き方はさまざまですが、全員が大切な仲間であり、戦力として期待しています。

就業にあたっては、障害をもっている方を特別扱いをするのではなく、もっている能力を引き出すサポートを行うことを心がけています。実際に一人の従業員として見ても彼らは十分に活躍できる人材です。その姿に周りのスタッフも刺激を受け、結果的に会社全体の活気につながっていると感じます。「障害者雇用」に関心はあるものの、なかなか一歩踏み出せないという皆さんもいると思いますが、最初から「自分たちにはできない」と諦めてしまうのではなく、「受け入れるためにできること」を前向きに捉えて検討することで、自社の業務内容や作業手順の見直しもつながります。もちろん、業務に慣れるまではフォローが必要な部分はありますが、一度仕事のやり方をつかむと、必ずや会社に貢献してくれる、かけがえのない人材に成長してくれます。

サポートを考える

本人の能力を引き出す

働く人の声

当事者 Voice 1

自分の得意分野を活かし、
毎日楽しく働いています

「タウンプラザかねひで 美里市場店」にて、店内の商品補充をしています。商品を各棚にきちんと並べるように気を配りながら取り組んでいます。自分にできることを活かして、皆さんと一緒に働けることが嬉しいです。



勤続年数:20年
比嘉 泰志さん

当事者 Voice 2

優しいスタッフばかりで
働きやすい職場です

職業訓練校を経て、パートとして勤務しています。ベーカリーとフロア補助の2つの業務を担当しており、パンの袋詰めや値付け、品出し、商品補充など、やることは多いですが、スタッフの皆さんとも仲良く、楽しく働いています!



勤続年数:6年
新垣 怜奈さん

当事者 Voice 3

仲間や上司にも相談しやすい
環境が整っていると思います

冷蔵棚への飲料補充をはじめ、フロアの商品補充、レジ業務、カートの回収などが主な仕事です。他のスタッフとも話がやすく、何かあった時も店長に相談できる雰囲気なので、11年という期間働いています。



勤続年数:11年
田中 逸樹さん

当事者 Voice 4

社会に出て働くことで
親孝行できるのが嬉しい!

商品補充とレジ業務を担当しており、お客さんから「レジ打ちが早いね」と褒められると、「もっと頑張ろう!」とやる気が出ます。社会に出てからは、両親にごちそうするなど、親孝行ができるようになってとても嬉しく思います。



勤続年数:8年
瀬覇 弘樹さん

障害者雇用を実現するために大切にしている 3つの POINT

POINT 1

指示を明確にして業務をスムーズに

指示が曖昧だと、作業の効率が下がってしまうため、なるべく具体的かつ簡潔に手順を伝え、本人にわかりやすいゴールを設定しています。

POINT 2

業務分量とスケジュールのチェック

頼まれたことを断りづらい方もいるため、新しい指示によって通常業務が止まってしまうかなど、常に状況把握を心がけています。

POINT 3

お客様へのフォロー体制の徹底

接客業務が得意な方もいるため、お客様対応のマニュアルを共有し、すぐに他のスタッフがフォローできるよう配慮しています。

私たちの
お仕事
内容



フロアの商品補充



ベーカリー業務



レジ業務

障害者雇用
応援企業紹介 02

秀 金秀商事株式会社

<本社>
沖縄県西原町小那覇494-1
TEL 098-946-2830
FAX 098-946-3522

●雇用数:93名(全従業員3,319名中) ●障害をもった社員の内訳:男性56名、女性37名 ●障害区分:身体障害、知的障害、精神障害 ●障害者雇用率:3.98%(法定雇用率2.5% ※令和6年6月1日時点)

企業も成長できる

障害者雇用を通して

私たち「金秀商事株式会社」は、県内において、スーパーマーケットなど小売・流通業を中心に展開しています。もともと弊社では、「多様な人材の採用で思いやりのある働き方を推進」することをグループの重点方針として掲げています。多様性のある組織づくりは、そこで働く社員や企業の成長にとって欠かせない要素だと考えているからです。

障害をもった方を迎えるにあたって、まずは社内で業務の洗い出しや見直しを行います。それにより業務分掌における視点が広がり、これまで以上に効率化できるようになりました。当事者のなかには、臨機応変な対応よりも一つのことを集中して取り組むのが得意、という方もいます。その場合は作業の切り取りを行い、工程の一部を任せます。それにより、本人のポテンシャルを引き出しながら、全体の効率を引き上げることが出来ます。もちろん、一人ひとりの様子を見ながら、他の業務にも挑戦してもらい、習熟度を高める機会も設けています。場合によっては職種転換を行うこともあり、本人の能力を十分に活かせる職場づくりを目指しています。



就業管理部 就業管理課 係長
村吉 涼孝さん

「障害者雇用」と一言で言っても、それぞれ個性が異なりますが、作業の手順とゴールを明確にすれば、真面目に懸命に仕事に取り組んでくれる方が多いので、一緒に働く際は言葉の「曖昧さをなくす」ことを意識しています。例えば、「この箱に入っているすべての商品を補充してください。作業は10分で完了するようにお願いします」というふうに、より具体的に指示することで本人だけではなく、管理者側の確認漏れなどもなくなり、正確かつ迅速に業務を進められるため、双方にとって大きなメリットがあると感じています。

現在、弊社では障害をもった皆さんが安心して働ける環境形成やお客へ理解を促す取り組みの一環として、店舗内に「障害者雇用推進企業」のポスター及びステッカーを掲示しています。あわせて、希望者にはワッペンを配布し、着用してもらうことで、継続的な障害者雇用推進につなげています。また、お客様対応マニュアルを共有することで、すぐに他のスタッフがサポートできる体制を取り、円滑なフロア業務を実現しています。

障害をもった方々とともに働くことで、作業の進捗確認や体調への気遣いなど、自然と周りの従業員からの声かけが増え、会社全体としてもスタッフ同士のコミュニケーションが活発になりました。また、当事者の皆さんは作業手順を自分の判断で省略することなく、しっかりと実行してくれるため、他のスタッフの良いお手本にもなっています。

